

39 公衆衛生とチャドウィック

2006/11/18

1 ロンドンの衛生状況の調査

- 1) 美しくないロンドン、境界のはっきりしない都市、ウエストミンスターとシティ
- 2) 28の自治区 九の水道会社 週3回2, 3時間
- 3) フリーと川、テムス川 汚染、暗渠化 悪臭事件
- 4) コレラ/腸チフス 1832(死者16000人) 排水施設、水道設備、換気 瘴気
蓋のない下水道、水の淀んだ溝、土の汚れた公衆便所
- 5) 共同墓地「都市での埋葬についての報告書」1843

2 チャドウィック報告(1842)

- 1) エドウィン・チャドウィック(1800-1890) 法廷弁護士
- 2) 党派によらない専門家の検討委員会 立法化の前段階
- 3) 土木技術者の組織化 客観的調査 具体的な事例 刺激的・挑戦的
- 4) 「グレイト・ブリテンの労働者階級の衛生状態に関する救貧法委員会から内務大臣への報告、1842/7」救貧法委員会書記エドウィン・チャドウィック
- 5) 救貧法調査の抜粋 1832 広範な権限を持つ中央当局の設置
- 6) 工場王立委員会委員長 33 労働時間の制限 権威と福利に関する環境要因の調査
- 7) 都市改良会社 水供給、下水、清掃、農業生産への利用

3 劣悪な状況の改善

- 1) 医者か技師か 医師 技師 法律屋
- 2) 建築規制、埋葬、排水 イギリスのプロシア人大臣
- 3) 集権態勢と自治 中央介入(鉄道会社の使用者責任)

4 公衆衛生法・シティ下水道条例の成立(1848)

- 1) 中央衛生本部——総合的管理体制
- 2) チャドウィックの抵抗 首都下水道委員会、教区会、水道会社
- 3) 首都水道条例(1852) 取水源、貯水池に覆い、濾過 1902 首都水道局の買い上
- 4) 舗装、不良住宅の制限 1837 マカダム舗装に着工 37 通行税廃止

5 首都の諸問題

- 1) 墓地 88 の教区 「奉献された汚物溜め」(タイムズ) 1850 古い墓地の閉鎖
- 2) 市 牛、羊、ブタ 150 屠殺場 汚物は街路へ 1840代 1870 新肉市場
- 3) 首都公共事業局 (city+38[23+15]) 下水道、街路改修、建築法規、公衆衛生細則
- 4) 1850-69 公園、(バタシイパーク他) 緑地 (ハムステッド・ヒース他)
- 5) 労働者住宅 産業労働者階級住居改善協会 シドニイ・ウオーターロー
アンジェラ・パーデット、ジョン・ピーボディ オクタビア・ヒル (不良住宅改良)
- 6) ウィリアム・モリス 美意識と曖昧な倫理観に反抗
- 7) 1863 地下鉄(メトロポリタン鉄道) 開通 72 馬車鉄道の乗り入れ禁止



ロンドンの水の一滴 1850年の『パンチ誌』より

III 近代都市の発生と課題

- | | | |
|----|---------------|-------|
| 32 | 産業革命の時代 | 06/03 |
| 33 | 近代都市の成立と都市の変質 | 06/04 |
| 34 | 古典的都市問題の発生 | 06/06 |
| 35 | 都市の矛盾と混乱 | 06/07 |
| 36 | 政策か政治か | 06/09 |

IV 都市問題への対応〔西欧〕——都市思潮①(第二次大戦まで)

- | | | |
|----|------------------------|-------|
| 37 | オスマンのパリ大改造 | 06/10 |
| 38 | 公衆衛生法 チャドウィック | 06/11 |
| 39 | 田園都市までの産業都市の試み | 06/12 |
| 40 | ハウードの田園都市 | 07/02 |
| 41 | 万国博覧会 ロンドン パリ | 07/03 |
| 42 | ナショナルトラスト | 07/04 |
| 43 | 土地利用計画とサブディヴィジョンコントロール | 07/05 |
| 44 | シティイビューティフル運動 | 07/06 |
| 45 | アメリカの摩天楼と巨大都市集中 | 07/07 |
| 46 | コルビジユエとアテネ憲章 | 07/09 |
| 47 | 国土計画と高速道路——ナチズム | 07/10 |
| 48 | ソビエトロシアの計画経済と都市 | 07/11 |
| 49 | 車対応とラドバーンシステム | 07/12 |

V 近代都市への対応〔日本〕——都市思潮②(戦前まで)

- | | | |
|----|---------------------|-------|
| 50 | 東京奠都・桑茶政策 | 08/02 |
| 51 | 中央集権体制の確立——廃藩置県・戸籍法 | 08/03 |
| 52 | 銀座煉瓦街計画 | 08/04 |
| 53 | 中央官庁街計画 | 08/05 |
| 54 | 東京市区改正条例 | 08/06 |
| 55 | 市制・町村制と大都市特例 | 08/07 |
| 56 | 日本の下層社会 スラムの発生 | 08/09 |
| 56 | 森鷗外、夏目漱石、幸田露伴、永井荷風 | 08/10 |
| 57 | 内務省と田園都市 | 08/11 |
| 58 | 都市計画法の成立 | 08/12 |
| 59 | 後藤新平と東京市政調査会 | 09/02 |
| 60 | 関一の都市思想 | 09/03 |
| 61 | 都市美協会 | 09/04 |
| 62 | 大東京市の成立 | 09/05 |
| 63 | 大都市問題 | 09/06 |

64	都市内交通と市電	09/07
65	東京都制	09/09
66	防空思想と都市	09/10

VI 第二次大戦後の都市課題への挑戦

67	イギリス・大ロンドン計画とブキャナンレポート
68	イギリス・ニュータウン政策
69	アメリカのフェデラルブルドーザーとジューンジェイコブス
70	ソ連の都市建設
71	日本の首都および首都圏計画
72	日本の全国総合開発計画
73	TVA、南イタリア開発
74	日本列島改造計画
75	首都建設、首都移転（ブラジリア、東京）
76	ブラジリアの実験
77	日本のニュータウン政策
78	ドイツの戦後計画
79	ポーランドの都市復興
80	北欧のニュータウン

V 現代都市の変容と対応

81	近代都市から現代都市へ	
82	現代都市問題の本質はなにか	都市矛盾の顕在化
83	車社会の実現と都市の変容	
84	メガロポリス、エクメノポリス	
85	持続可能性	
86	スプロールとコンパクトシティ	
87	農村の都市化と都市のムラ化	
88	都市コミュニティニューティの行方	
89	地方分権と「まちづくり」の発想	
90	市民参加	
91	近代都市の行く末	ニューヨーク産業貿易センタービルの崩壊
92	環境と都市	

VI 現代都市の課題